

平成 27 年 2 月 8 日

保険薬局 各位

日本赤十字社和歌山医療センター
薬剤部長 阪口勝彦

施設間服薬情報報告書（トレーシングレポート）の導入について

平素は、院外処方箋の応需ならびに医薬品の適正使用にご協力いただき、ありがとうございます。さて、保険薬局におかれましては、日頃より疑義のある処方について、処方医師に対し、適宜疑義照会を行っていることと思います。しかし、患者から聞き取った服薬アドヒアランス状況や副作用に関する報告、OTC薬や健康食品などの使用に関する情報など、即時性の低い情報について、処方医師へフィードバックすることが困難なのが現状でした。また、情報の中には、診療上、重要な情報が含まれる場合もあります。

そこで日本赤十字社和歌山医療センター薬剤部では、本年 2 月の院外処方箋全面発行を機に、施設間服薬情報報告書（トレーシングレポート）を導入することといたしました。今後、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容については、FAXにてトレーシングレポートを薬剤部まで送信をお願いします。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報伝達を行い情報の共有化を図りたいと思います。

適正で安全な薬物療法をよりいっそう推進するため、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

FAX 送信先

日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部 073-425-6391